



カトリック中央協議会  
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2022年5月号（598号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会	1
・典礼委員会	2
・学校教育委員会	4
・カリタスジャパン	4
・難民移住移動者委員会	6
・正義と平和協議会	9
・部落差別人権委員会	10
・日本キリスト教連合会（日キ連）	11
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク	12
・中央協議会事務局（総務）	13
公文書	13

常任司教委員会

■3月定例常任司教委員会

日 時 2022年3月3日（木）10:00-12:00

場 所 マレラホール

出席者 委 員 7名 事務局 8名

## 審 議

1. 教皇フランシスコ自発教令『コムペテンチアス クアスダム デチェルネレ』による教会法の改訂について  
教皇フランシスコが2022年2月11日に署名した自発教令『コムペテンチアス クアスダム デチェルネレ』発行に伴い、教皇庁の管轄であったいくつかの権能を地方教会の司教らに託すことが決定し、関連する『新教会法典』が改訂されたことを受け、該当部分の邦訳と現行の『新教会法典』の修正または改訂に関する作業を教会行政法制委員会に依頼した。
2. 教皇フランシスコ自発教令『トラディツィオニス・クストデス』と関連文書について  
教皇フランシスコが2021年7月16日付で公布した自発教令『トラディツィオニス・クストデス』により、第二バチカン公会議による改革以前の典礼書の使用について新たな方針を示したことを受け、同教令と添付の手紙の邦訳、および後日司教協議会会長宛に送付された典礼秘跡省による同自発教令に対する各国からの質問への回答の邦訳を中央協議会ウェブサイトで公表する。
3. 法務大臣宛在留特別許可に関する要望書と署名活動について  
2022年度定例司教総会での諸意見をもとに修正した法務大臣宛在留特別許可に関する要望書が社会司教委員会から常任司教委員会に提出されたが、それに加え、新たに松浦司教から加筆の要望が届いたことを受け、全司教に稟議案件を送付し、意見提出を願う。
4. 責任役員会諮問事項審議会の委員選出について  
責任役員会が選出する責任役員会諮問事項審議会の3名の委員を確定した。
5. 財務委員会委員選出について  
財務委員会の法人外部からの次期委嘱委員を確定した。
6. 日本の教会として環境問題に取り組むための事務局体制について  
日本の教会として環境問題に取り組むための事務局組織については、本常任司教委員会の諸意見に基づき、継続して審議を行い、2022年7月の臨時司教総会に提案できるよう、準備を行う。
7. 「日本カトリック司教協議会災害対応規程」と「カトリック中央協議会災害対応に関する細則」について  
1) 2022年定例司教総会で指摘のあった箇所に修正を加えた「日本カトリック司教協議会災害対応規程」を最終版として確定する。  
2) もうすでに内容の承認を終えている「カトリック中央協議会災害対応に関する細則」については、定例司教総会後に開催された臨時常任司教委員会の開催日である2022年2月17日に遡って承認する。  
3) 確定した「日本カトリック司教協議会災害対応規程」と「カトリック中央協議会災害対応に関する細則」を司教および教区事務局長に配布するとともに、その周知と説明のために2022年4月または5月にオンラインによる教区事務局長会議を開催する。
8. 2022年度管理職人事について  
現社会福音化推進部長のイグナシオ・マルティネス師の任期満了にともなう退職を受けて、広島教区から派遣される原田豊己師を2022年4月1日付で、社会福音化推進部長とする。

## 典礼委員会

### ■ 定例会議

日 時 2022年3月14日(月) 10:00-14:45  
場 所 カトリック広島司教館、ウェブ会議  
出席者 10名  
欠席者 1名

## 報 告

1. 新しい「ミサの式次第と奉献文」の実施に向けて  
本年の待降節第一主日より実施される新しい「ミサの式次第と奉献文」の開始期日等を正式に告知する司教協議会会長名の「教令」、および「新しい『ミサの式次第』の旋律公表の基本方針」、新しい「ミサの賛歌（ミサ曲）」の旋律について2月の司教総会に最終案を提出し、承認を受けた。
2. 新しい「ミサの式次第と奉献文」にかんする説明会  
掲記式次第と奉献文の周知のために、昨秋より各教区で行われている説明会に協力した委員からの報告を受けて、質疑応答等の共通理解と今後の予定等についての情報交換を行った。

## 審 議

1. 2022年度全国典礼担当者会議について  
本年9月5日～7日に「新しい『ローマ・ミサ典礼書』の実施に向けて②」のテーマのもとに中軽井沢・御聖体の宣教クララ修道会で開催が予定されている掲記会議のプログラム案について意見交換を行った。次回以降、教区典礼担当への案内、実施要項などを確定する。
2. 新しい「ミサの式次第」に伴う所作の確認  
各教区説明会等で多く寄せられた「ミサの式次第」の所作についての質問、意見を確認し、回答および今後の対応を検討した。
3. 聖歌作品の認可について  
前回会合に引き続き、認可申請のあった聖歌作品について、検討を行った。

## 次回日程

定例会議 2022年5月16日（月）10:00～15:00

### ■ 典礼音楽担当部門

日 時 2022年3月15日（火）14:30-16日（水）14:00

場 所 暁星中・高等学校（東京・千代田区）

出席者 4名

## 審 議

新しい「ミサの式次第と奉献文」（2022年11月27日から実施）とともに用いる式次第の旋律の検討を行った。

### ■ 『ミサ典礼書』改訂委員会

日 時 2022年3月26日（土）9:30-11:30

場 所 ウェブ会議

出席者 5名

## 審 議

共通の部（教会博士・おとめ）の入祭唱・拝領唱の日本語訳を検討した。また、新しくなる公式祈願の結びの定句について確認した。

## 学校教育委員会

### ■第179回学校教育委員会

日 時 2022年3月15日(火) 15:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 11名

欠席者 2名

#### 報 告

1. 第5回カトリック学校教員研修長崎・五島巡礼について  
隔年で開催しているカトリック学校の教職員を対象とした長崎・五島巡礼について報告され、今年度の開催を見送ることを申し合わせた。
2. カトリック教育サポート委員会  
カトリック学校の教員をサポートするため、カトリック・イエズス会センター(東京・千代田区)の養成部門に新たに設置された「カトリック教育サポート委員会」より、ホームページ公開と活動内容について報告された。
3. 学校連合会  
2022年度に実施予定の研修会、出版物について報告された。

#### 審 議

第34回「校長・理事長・総長管区長の集い(集い)」について

全国的な感染拡大の状況に配慮し、ハイブリッド(対面・オンラインの併用)で開催することを申し合わせた。プログラム、具体的な進行方法について検討した。

日 時 : 2022年4月28日(木)、29日(金・祝)

テーマ : とともに歩み、橋をかける—新しいカトリック教育の可能性

会 場 : 都市センターホテル、オンライン

## カリタスジャパン

### ■第2回啓発部会会議

日 時 2022年3月10日(木) 10:00-12:00

場 所 ウェブ会議

出席者 10名

#### 報 告

1. 1月事務局人事、2月からの体制について
2. 事務局報告
3. 21世紀キリスト教社会福祉実践会議

#### 審 議

1. 国際カリタスキャンペーン「Together We」について  
キャンペーンの方向性、2022年の取組みスケジュールを確認し、啓発部会の役割や方向性について、

以下のとおり確認した。詳細は継続審議とする。

- ・啓発部会としては、「追いやられた人々」を中心とした）ケアの文化を広め、育てるための発信源となり、場の提供を行う。
- ・2022年の「気づきのためのアクション」に向け、これまでの支援報告会、2021年実施の全国セミナーなどのまとめに着手する。

## 2. 振り返り

任期満了委員からの積み残し課題への具体的な提案、4月からの部会への期待、自身の抱負等について聞き、今後の活動についての示唆を得た。

次回日程：4月26日(火)合同会議以降に調整予定。

## ■第2回 事務局会議

日 時 2022年3月15日(火) 13:30-15:30

場 所 ウェブ会議

出席者 9名

### 報 告

#### 1. 援助部会報告

カリタスイタリアの寄付、「ウクライナ緊急人道支援」の募金受付・支援状況について確認した。

#### 2. 啓発部会

次年度の予定、CI グローバルキャンペーン、21世紀キリスト教社会福祉実践会議について確認した。

#### 3. 事務局報告

2021年度決算報告書、2021年度の年次報告書、ニュースレター「We Are Caritas」24号、Facebook掲載内容、国際カリタス管理基準提出資料、中期計画策定ワークショップ準備の進捗状況について確認した。

#### 4. ERST（災害緊急対応支援チーム）について

第一回会議の内容、今後の課題について確認した。

#### 5. 秘書・委員について

2022年4月から2025年3月までの新秘書、委員の発表があった。

### 協 議

#### 1. 4月カリタスジャパン委員会・部会合同会議について

日時：4月26日(火) 13:30-15:30

内容：自己紹介、人事、報告事項（援助、啓発、事務局、その他）、協議事項（年間スケジュール、中期計画策定、グローバルキャンペーンについて）

#### 2. 社会司教委員会出前研修メニューについて

カリタスジャパン担当の研修内容は「Together We-ケアの共同体をつくるために」とし、6月以降の実施に向けて準備する。

#### 3. 秘書、委員の交代に伴う2022年度の活動方向性について

CJがこれまで取り組んできた啓発と援助の連携がさらに強化され、一体感を持って協力していくための体制とする。また、司教、秘書、委員の役割分担を明確化する。

#### 4. その他

次回会議 4月5日(火) 13:30-16:00

## ■第2回援助審査会議

日 時 2022年3月18日(金) 13:30-16:00

場 所 ウェブ会議

出席者 5名

### 報 告

1. ウクライナ募金状況進捗、ERST（災害緊急対応支援チーム）の会議、カリタスイタリアの寄付、援助申請から審議までの流れについて確認した。

### 審 議

1. 海外案件5件について審査し、5件とも仮承認した。
2. 国内案件4件について審査し、2件を仮承認し、2件を継続審議とした。

## 難民移住移動者委員会

## ■2022年度第1回船員司牧部会（ステラマリス日本）コア会議

日 時 2022年1月27日(木) 15:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 9名

### 報 告

1. 講話：船員の家族としての経験や思い、情報共有など。
2. 各教区・港の報告、情報共有（変化や特記すべきことなど）。クリスマス前後の訪船活動や港の状況について分かち合った。コロナ禍で港によっては訪船活動を継続している中でも、船員が外に出ることは厳しく禁じられている。霊的ケア、心理的サポートの必要性が指摘された。毛糸の帽子を手編みして集めたり送ったり、配ったりしている各地でのそれぞれの状況や新しく呼びかける動きも共有された。
3. 委員会からの報告、情報共有。タリタクム日本のオンライン祈りのリレーについて。
4. 国内のステラマリスネットワーク名簿について。

### 審 議

1. 社会司教委員会 2022年度出前研修のメニューについて確認した。「なお船員司牧は、故郷にいる船員の家族への司牧にも全世界で取り組んでいます。」の一文を加える。
2. 2022年船員の日（7月10日）に向けて、今後のスケジュールと次回コア会議での検討課題を確認し、印刷物の準備に向けて意見交換を行った。

## ■2022年度第2回全国担当者・ネットワーク情報交換会

日 時 2022年2月3日(木) 15:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 14名

各地、各小教区での外国語ミサや言語別共同体の状況、支援活動状況について共有された。また、寝たきりのネパール出身 A さんについて、長崎の大村入国管理センター訪問グループの川田さんより支援側の状況報告があった。大村入管には他にも健康状態が心配な被収容者が複数いるほか、状況がわからない人が一番心配で、支援者で連絡を取り合って何とかやっというところから始まっていることが分かち合われた。各地において、学校やアルバイト先指定銀行で口座開設しようとした外国人が露骨に差別されて口座開設できなかったり、使用目的など繰り返し聞かれ、やっと開設できた話があった。アドボカシー啓発プロジェクト関連では、技能実習をめぐる様々な動きについて、無保険医療署名集めの延長についてなどが報告された。

## ■2022 年度第 2 回事務局会議

日 時 2022 年 2 月 3 日 (木) 15:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 7 名

### 報 告

1. 人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告
  - 1) 4 月以降の運営委員と事務局体制変更について。
  - 2) 2 月 8 日聖バキータの記念日の祈りのマラソンについて
2. 船員司牧部会（ステラマリス日本）報告

### 審 議

1. 12 月 10 日に行われた司教のための社会問題研修会（社会司教委員会主催）のフォローアップとして、社会司教委員会と難民移住移動者委員会に依頼された文書について検討した。
2. 3 月の定例会議の開催方法、時間について最終確認した。
3. 委員長、担当司教も呼びかけ人になっている無保険医療の署名について、複数言語への翻訳を決定し、言語別コミュニティへの呼びかけについて検討した。

## ■2022 年度第 3 回事務局会議

日 時 2022 年 3 月 3 日 (木) 15:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 7 名

### 報 告

1. 人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告
2. 2022 年世界難民移住移動者の日テーマ「Building the Future with Migrants and Refugees」について

### 審 議

1. 司教のための社会問題研修会を受けた司教団の取り組みに関する委員会対応について
2. 2021 年度決算報告書を確認した。
3. 無保険医療署名多言語版を具体的に広げる方法について意見交換した。
4. 2022 年 4 月からの次期委員について
5. 委員会が新体制を迎えるにあたり、次回定例委員会以降の企画について意見交換した。

## ■2022 年度第 1 回定例委員会

日 時 2022 年 3 月 4 日（金）11:00-16:00  
場 所 日本カトリック会館 マレラホール  
出席者 13 名

### 報 告

1. アドボカシー啓発プロジェクト報告
2. 人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告
3. 船員司牧部会（ステラマリス日本）報告
4. 司教のための社会問題研修会に関する司教総会の決定事項に関して
5. 2022 年度社会司教委員会出前研修について
6. 2022 年世界難民移住移動者の日テーマ「Building the Future with Migrants and Refugees」について
7. 外国人住民基本法の制定を求めるキリスト教連絡協議会（外キ協）、難民・移住労働者問題キリスト教連絡会（難キ連）関連報告。委員長交代に伴い、難キ連世話人に引き続き、外キ協共同代表も山野内司教に交代した。
8. 各管区・各地からの報告

### 審 議

1. 2021 年度決算の予算差異を確認し、決算報告書を承認した。
2. 無保険医療署名多言語版を具体的に広げる方法について意見交換した。
3. 2022 年 4 月からの次期委員について確認した。
4. 委員会が新体制を迎えるにあたり、次回定例委員会でを行う説明と共有内容、分かち合いについて検討した。

## ■第 21 回人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）運営委員会

日 時 2022 年 3 月 9 日（水）10:00-12:00  
場 所 日本カトリック会館 マレラホール  
出席者 13 名

### 報 告

1. タリタクム・インターナショナルとタリタクム・アジアからの報告
2. タリタクム日本意向献金の収支報告
3. 新型コロナベトナム人技能実習生ホットラインからの報告

### 審 議

1. 今後の新体制について
2. タリタクム日本・オンライン・セミナーについて
3. タリタクム日本・ニュースレターについて



## ■2022年度第2回船員司牧部会（ステラマリス日本）コア会議

日 時 2022年3月27日（木）15:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 9名

### 報 告

1. 各教区・港の報告
2. 委員会からの報告、情報共有

### 審 議

1. 2022年船員の日（7月10日）に向けて、テーマ、ポスター、J-CaRM News 記事の検討などを行った。
2. 7月18日（月・祝）の船員司牧（ステラマリス）全国研修会のオンライン開催を再確認した。次回、講演内容と講師候補の提案を持ち寄って検討し、決定する。船員の日 の 発 送 に 合 わ せ て 案 内 を 全 国 の 教 会 に 送 る。
3. 訪船記録アプリについて検討した。ステラマリスも参加する世界的なエキュメニカルネットワーク ICMA ロゴが付いているが、現在は Sailor's Society が所有している Ship Visitors app には登録していない。ステラマリスが利用している Salesforce 訪船記録アプリについて、後日ステラマリス UK から説明を受けるための日程調整をする。

## 正義と平和協議会

## ■事務局会議

日 時 2022年2月25日（金）13:00-16:30

場 所 ウェブ会議

出席者 7名

### 報 告

1. 業務進捗状況報告
2. 正義と平和協議会規約と組織、委員、協力者の確認
3. 部会の動き
4. 外部会議報告と予定
5. 東京教区カリタス東京の設立にともなう東京教区の正義と平和活動の今後について

### 審 議

1. 全国会議（2022年3月4日-5日）準備状況の確認
2. ウクライナへのロシア侵攻への声明文を検討、声明文作成、発表を行った。

## ■全国会議

日 時 2022年3月4日（金）18:00-3月5日（土）16:00

場 所 ウェブ会議

出席者 70名

テーマ 「『兄弟の皆さん』と現代世界」

今年の全国会議は、現代社会において神の正義と真実の平和を実現するにはどうすればよいのか、回勅『兄弟の皆さん』を手がかりに、私たち一人ひとりが現状を認識し、今後の課題を理解するための場を提供することを目的とした。

そのため、参加者は、回勅『兄弟の皆さん』を読んでおくことをあらかじめ願い、正義と平和協議会委員による回勅『兄弟の皆さん』についてのコメントをビデオ撮影し、事前資料として参加者に提供した。

会議当日は、ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区）による、回勅『兄弟の皆さん』の詳細な解説と、翻訳者西村桃子さん（セルヴィ・エヴァンジェリー会員）との対話から、回勅『兄弟の皆さん』の理解をさらに深めた上で、参加者は5つのグループに分かれて分かち合いを行い、全体会でその結果を報告した。ロシアによるウクライナ侵攻の直後の会議となり、緊迫した空気のなか、真実の平和の実現のために私たちには、何ができるか、真剣な話し合いが行われた。

3月4日（金）18：00-20：00

公開講演会 「『兄弟の皆さん』と現代世界」

講 師 ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区）

コメンテーター 西村桃子さん（『兄弟の皆さん』日本語翻訳者、セルヴィ・エヴァンジェリー会員）

講演会参加者 120名

3月5日（土）

9：30 開会の祈り

9：40 全国会議趣旨説明とガイダンス

『兄弟の皆さん』（FT）をもとに、5つのテーマ別グループに分かれての分かち合い

（分かち合いのテーマ）

- A 「兄弟愛と社会的友愛」 FT2、5章を中心に。政治、経済、国際関係などの構造的な問題について
- B 「閉ざされた世界開かれた世界」 FT1、3、4章を中心に。現代世界、日本社会のありようと自分自身
- C 「対話と和解」 FT6、7章を中心に。兄弟愛と社会的友愛の実りの条件
- D 「教会の役割」 FT8章を中心に。
- E 「人間の尊厳」 回勅のゆるがない土台

分かち合いは、課題となったテーマへの関心の理由、自分の置かれている現状を分析する。回勅『兄弟の皆さん』の内容と照らし、課題を共有し行動につなげていくことをポイントとした。全体会で、それぞれのグループの報告、今後への活かし方を発表した。

15：00 課題別ネットワークミーティング

「憲法」「脱原発」「死刑廃止」「沖縄県をはじめとする基地問題」「東アジア平和」「労働」「差別・人権・女性」の7つの課題で関心のあるテーマに分かれて、今後のネットワーク構築について話し合った。

16：00 解散

## 部落差別人権委員会

### ■第1回定例委員会

日 時 2022年3月4日（金）14:00-17:10

会 場 ウェブ会議

出席者 16名

## 報 告

1. 部落差別人権委員会委員長他、司教協議会、中央協議会における担当について
2. 2021年度第4回定例委員会（2021年12月3日）
3. 第110回 社会司教委員会（2022年2月15日）
4. ハンセン病問題冊子の現状
5. 狭山事件の再審を求める市民集会（2022年5月24日）

## 審 議

1. 2021年度決算  
「2021年度 決算報告書」案を説明。変更・追加なく承認された。
2. 年間テーマ  
第1回事務局会議で検討された以下の案が提案され承認された。  
「解放への歩みとともに 水平社宣言から100年 — 狭山事件、ハンセン病問題に問われて」
3. 全国会議  
9/19(月)に開催することが決定された。
4. 2022年度事業計画（案）  
6/11（土）に水平社宣言100年がテーマのシンポジウムを、大阪教会管区部落差別人権活動センターと共催する。  
ハンセン病家族訴訟原告団長のインタビューを行う。  
ハンセン病問題冊子の完成後には「出前研修」のテーマとする。

# 日本キリスト教連合会（日キ連）

## ■2021年度第4回常任委員会

日 時 2022年1月25日（火）16:00-17:00

会 場 ウェブ会議

出席者 7名

## 報 告

1. 日本宗教連盟（日宗連）  
12/22 宗教法人に関する「勉強会」を増上寺にて開催した。  
事業復活支援金に対する「要望書」を準備中である。  
文化庁宗務課からコロナ禍における実態調査開始の通知があった。（日宗連から協力依頼を送付する予定）
2. 東京都宗教連盟（都宗連）  
常任委員会報告（道家委員、赤井氏）次回は1月27日（木）予定  
石橋理事・道家委員・赤井悠蔵さんに2021年度交通費として各1万円を送付する（道家委員に託す）。2021年11月に開催された都宗連研修会の費用が赤井さんに振り込まれているか、事務局で確認する。
3. 事務局  
日キ連会報を発行した。  
HPについては前回確認通り、20万円の作成費、月3000—5000円の管理費で工房ヒラムに依

頼した。

#### 審 議

1. 2022 年度総会について  
4 月 21 日（木）  
午前 9 時 45 分-10 時 25 分 書面決議による総会（常任委員参加）  
午前 10 時 30 分-12 時大柴委員長による講演会「COVID-19 下での悲嘆とそのケア」  
分担金については 3 年に一度の教勢確認をした上で、2021 年度同様 20%減額で総会提案することを確認した。
2. 2022 年度 キリスト教宗教学法人のための法人事務・会計実務研修会について  
ZOOM での開催とし第一候補 2022 年 10 月 19、20 日（水、木）午前 10 時—午後 3 時（1 時間休憩）、第二候補を前週 12、13 日（水、木）で調整する。  
会計については会計実務を中心に長岡淳三税理士に、法人事務については昨年の内容をさらに深めて櫻井圀郎法務顧問に依頼する。
3. その他  
矢萩委員から、成人年齢の引き下げに伴う宗教法人規則、教会憲法・規則への課題ならびに教職試験の時の健康診断における条件に関する課題が報告された。
4. 次回日程【2022 年度第 5 回常任委員会】2022 年 4 月 5 日（火）10:00-12:00 於:ZOOM にて開催

## 子どもと女性の権利擁護のためのデスク

### ■第 63 回 子どもと女性の権利擁護のためのデスク定例会議

日 時 2022 年 3 月 29 日（火）14:00-16:00  
場 所 ウェブ会議  
出席者 14 名

#### 報 告

1. 「性虐待被害者のための祈りと償いの日」の企画について  
各教区の企画について確認を行った。多くの教区で、各小教区にてミサや祈りを捧げるよう周知され、司教協議会会長メッセージの発信、デスクリーフレットの配布や研修会の実施などが行われた。
2. 今後の事務局体制について  
2003 年、聖職者による性虐待に関する司教団の取組みとして本デスクが設置され、実態調査やガイドラインの改訂作業などの協力を行いながら、小冊子の発行などを通して啓発活動を行ってきた。2021 年、『未成年者と弱い立場の成人の保護のためのガイドライン』が定例司教総会にて承認され、現在、その運用についての部門が検討されている。並行して、本デスクの役割や体制の見直しを図っているため、体制が整い次第、委員の任命等を行う予定。

#### 審 議

1. これまでの振り返り  
配布資料に基づき、デスクの歩みを確認した。
2. 日本のカトリック司教団の取組みの評価と課題

取組みに関する振り返りを行った。各委員からの主な意見として、司祭養成について、女性の登用について、教会内で対応しようとする姿勢の弊害についてなどが課題として挙げられた。

## 中央協議会事務局

### ■総務

5月会議予定

12日(木)	常任司教委員会	日本カトリック会館
13日(金)	緊急対応支援チーム(ERST)	//
16日(月)	典礼委員会定例会議	//
20日(金)	部落差別人権委員会定例委員会	//

---

### <会報 2022年5月号 公文書>

「ウクライナとロシアを聖母マリアの汚れなきみ心に奉獻する」  
-教皇フランシスコと心をあわせて-(日本語)

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/03/23/24390/>)



「ウクライナとロシアを聖母マリアの汚れなきみ心に奉獻する」  
-教皇フランシスコと心をあわせて-(英語)

Consecration of Ukraine and Russia to the Immaculate Heart of Mary together with Pope Francis

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/03/23/24393/>)



2022年「世界広報の日」教皇メッセージ

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/04/06/24464/>)



2022年「世界宣教の日」教皇メッセージ

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/04/06/24467/>)



カトリック中央協議会 「会報」 2022年5月号 (通巻598号)

発行日 2022年5月10日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457